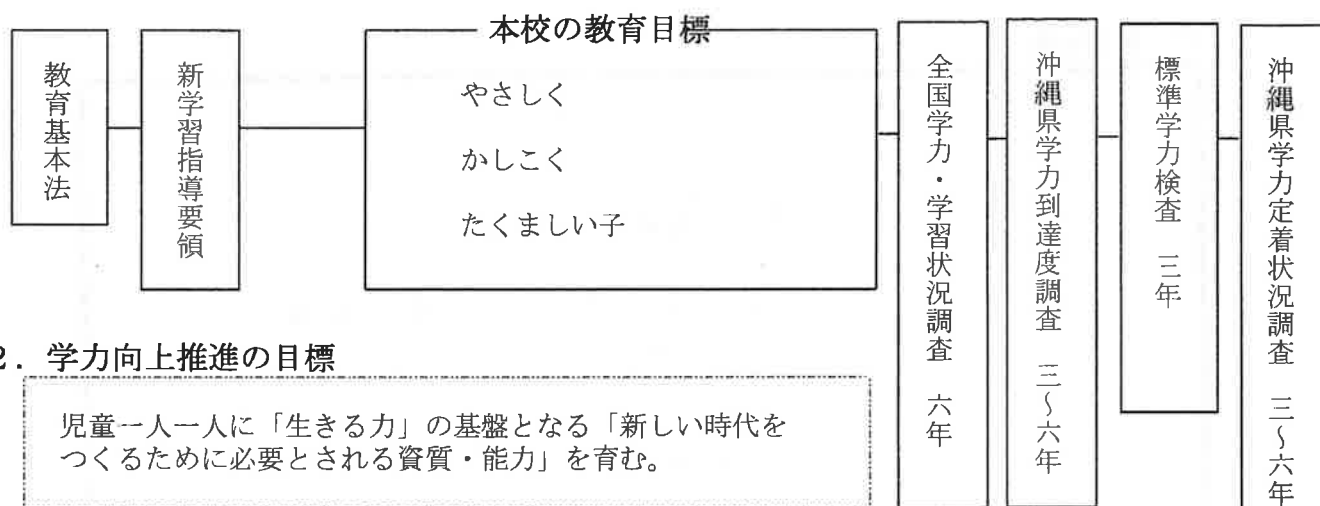


## Ⅷ 高嶺小学校学力向上推進計画

### 1. 本校教育目標と関連法規・諸調査



### 2. 学力向上推進の目標

児童一人一人に「生きる力」の基盤となる「新しい時代をつくるために必要とされる資質・能力」を育む。

### 3. テーマ

『心豊かな高嶺っ子に確かな学力を』

### 4. 基本方針

- (1) 教師の指導力を高めるとともに、『確かな学力の向上』『豊かな心の育成』『健やかな体の育成』等に係る事項について取組の充実を図る。
- (2) 「確かな学力の向上」については、「新学力向上推進プロジェクトⅡ」を踏まえ、「問いが生まれる授業サポートガイド」等を活用した取組を推進する。
- (3) 学ぶことの習慣を身につけさせるために基本的な生活習慣の形成を図る。
- (4) マネジメントサイクルに基づき、実効性のある学力推進の取組を推進する。
- (5) 各学年で身につけるべき内容を確実に定着させる取組の充実を図る。
- (6) 学校、家庭、地域、行政が相互に連携協力して、日常的な取組を推進する。

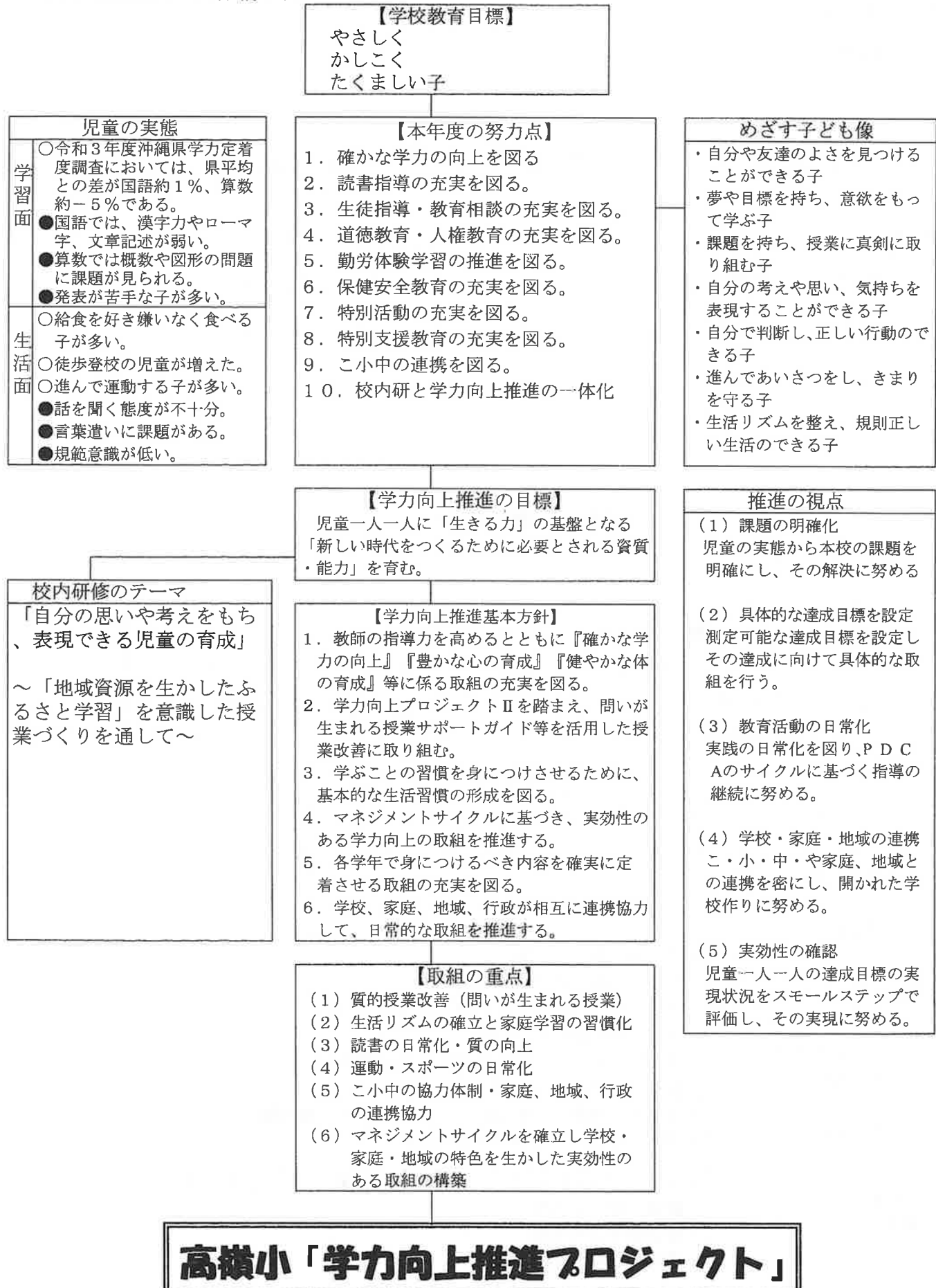
### 5. 推進の視点

- (1) 課題の明確化  
児童の実態から本校の課題を明確にし、その解決に努める。
- (2) 具体的な達成目標の設定  
測定可能な達成目標を設定し、その達成に向けて具体的な取組を行う。
- (3) 教育活動の日常化  
実践の日常化を図り、P・D・C・Aのサイクルに基づく指導の継続に努める。
- (4) 学校・家庭・地域の『連携』  
こ・小・中や、家庭・地域との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。
- (5) 実効性の確認  
児童一人一人の達成目標実現の状況をスモールステップで評価し、その実現に努める。

### 6. 推進年次計画

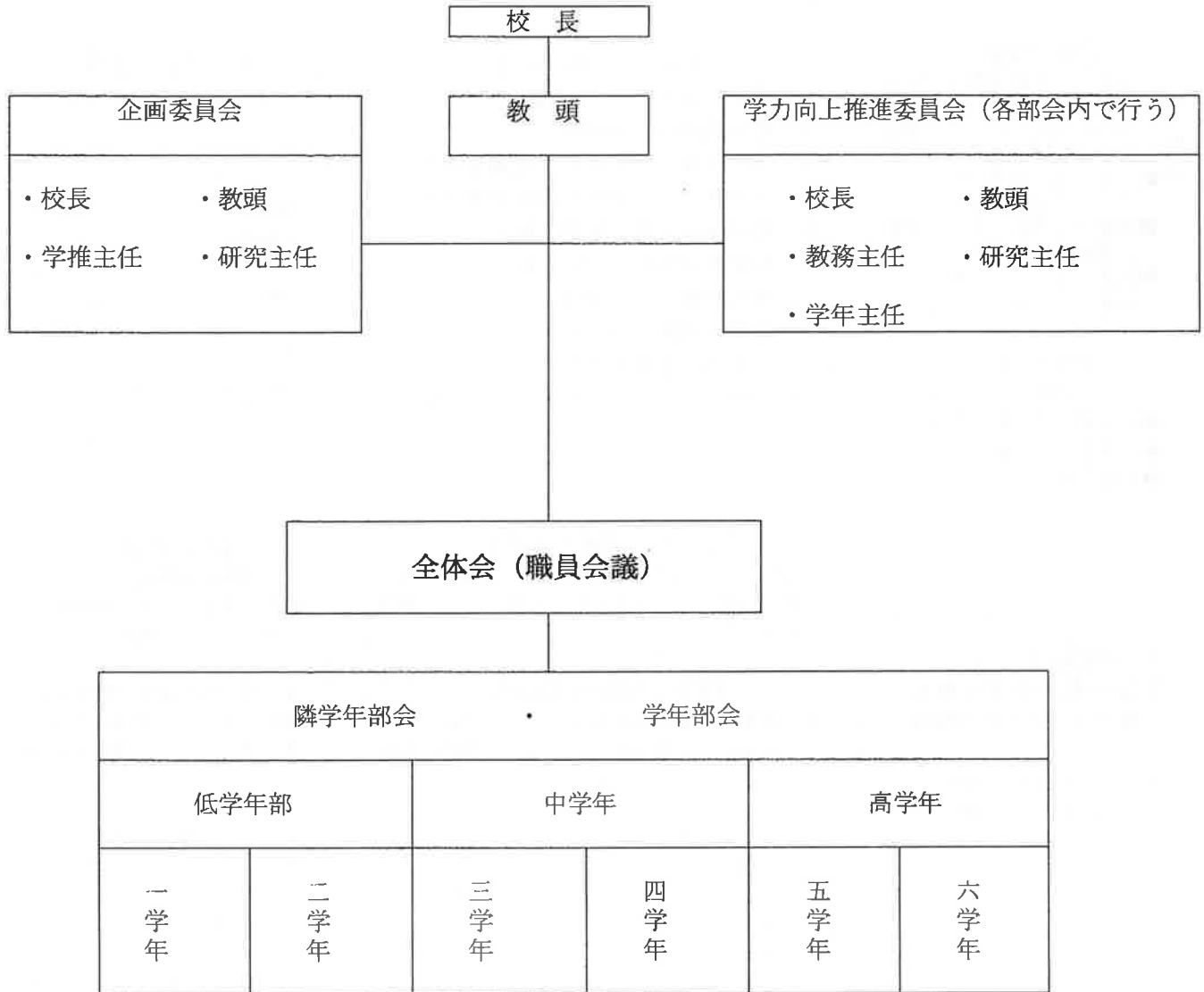
学力向上推進5か年 プランプロジェクトⅡ	取 組 内 容
令和2年度～令和3年度 【質的改善期】	○学習指導要領の全面実施に対応した教育課程の整備。 ○3つの視点、5つの方策の推進
令和4年度～令和5年度 【充実期】	○学習指導要領に基づく教育課程の充実。 ○3つの視点、5つの方策による学びの質的改善のマネジメントサイクルの確立。
令和6年度 【総括期】	○学びの質的改善の取組の成果・課題の検証

## 7. 学力向上推進の全体構想図



## 8. 推進組織

### (1) 組織図



### (2) 組織の役割

組織名	役割
企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上推進計画案の検討</li> <li>推進委員会への提案事項の検討</li> <li>全体会、研究会に関する事項の検討</li> </ul>
学力向上推進委員会 (各部会で行う)	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進計画の検討及び推進</li> <li>各学年や隣学年部会からの提案事項の検討</li> <li>推進に関する情報収集</li> </ul>
全体会 (職員会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体的な推進計画や取組事項についての共通理解</li> <li>教師の資質向上に向けた理論研修</li> </ul>
学年部会 隣学年部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年、隣学年における具体的取組の計画、実践、評価、改善</li> <li>教材、教具の開発</li> <li>授業研究会の実施</li> <li>資料の収集と整理</li> </ul>

9. 具体的取組

確かな学力の向上

(1) 「問い」が生まれる授業づくり (サポートガイドの活用)

(方策1) 日常化する【質的授業改善】

① 授業における基本事項 (高嶺小版) の徹底 (問いが生まれる授業の基盤)

項目	チェック項目	留意点
☆学習規律	○始業前の学習用具の準備と、机・椅子の整理整頓 ○授業開始・終了時刻の徹底 ○話す・聴く態度の確立	・全校体制での共通実践であることを意識し、必ず守るという意識を持たせる。
めあて・まとめ・振り返り	○身につけさせたい力を踏まえた「めあて」の設定・提示 ○「めあて」に正対した「まとめ」「振り返り」	・「めあて」「まとめ」「振り返り」のある完結型の授業づくりに取り組む。 ・時間内に完結するための授業計画
☆発問・発表	○「なぜ」「どう考える」等の思考や学び合いを促す発問 ○引き出したい問いに迫る意図的、計画的な発問	・児童が「問い」を持ち、主体的に学び合うための発問や問題提示を工夫する。
☆思考力・判断力・表現力等 自己肯定感の高まり	○児童が考えをまとめたり表現したりする時間の確保 ○ねらい達成に向けた言語活動 (交流場面) の設定 ○各教科授業のふり返りの充実 ○ふんわりちゃんアンケートや教育相談アンケートの活用	・自分の考えをもって、他者と交流させることにより思考を広げ深める。 ・授業及び教育活動全体において他者とかかわりながら課題解決する過程で自己肯定感を高められるようにする。
板書・ノート・教具	○思考を整理し考えを深める構造的な板書・ノート指導 ○教具・ICT機器の効果的な活用	・マイノートづくりや板書計画を立てる。(できるだけ学年で揃える) ・「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を図る。
☆授業マネジメント 学び・育ちの実感	○一単位時間で完結する授業の徹底 ○自分で考え、計画して行動に移す場面を設定する ○キャリアパスポートの有効活用	・時間内に完結させるための指導計画が必要 ・キャリアパスポートの資料を丁寧にまとめ次学年へ引き継げるようにする。
組織的な関わり	○「授業における基本事項」、「問いが生まれる授業サポートガイド」の活用	・組織的な授業改善に加え、個に応じた指導の充実も図る。
評価	○「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」の活用	・目指す資質、能力 (児童の良い点や改善点) を見取るとともに、児童が学ぶ意義や価値を実感できるような評価になっているかを意識する。

☆印の部分は、本校の授業改善における課題の部分であるので、特に意識して授業づくりを行う。

② 授業改善ツールの活用

○ 「単元プランシート」の活用（単元をデザインする）

- 目標を設定する・・・目指す児童の姿、単元で育成する資質・能力、「見方・考え方」など。
- 教材、児童の実態を把握する・・・レディネス、教材の系統性、予想されるつまずきなど。
- 指導の計画を組み立てる・・・考える場面と教える場面、見通す、振り返る場面など。

○ 「授業プランシート」の活用（授業をデザインする）

- 本時のねらい・・・めざす児童の姿や働かせたい見方・考え方を明確にするなど。
- 「めあて」「まとめ」「振り返り」・・・課題意識を持たせる、学んだことの明確化など。
- 本時の展開・・・教材提示の工夫、学習の成果のみとり方の工夫など。

○ 「授業振り返りシート」の活用（授業を振り返る）

- 児童の学びの姿や板書等から多角的に授業の振り返りを行い、効果的な授業改善につなげる。

(2) 学習の基盤となる資質・能力の育成

(方策2) そろえる【組織的共通実践】

① 学習規律の確立（高嶺小の重点共通実践事項）

	学習規律における共通実践事項（高嶺っ子学習5つのきまり参照）
1	2分前着席、1分前黙想の徹底
2	話の聴き方（目、耳、心、体、頭で聴く） 最後まで聴く、相手の考えを尊重する
3	発表の仕方（挙手して発表、話形の活用）
4	学習用具の準備（筆箱の中身をそろえるなど）
5	授業中の机上の整理（筆箱は出さない、鉛筆消しゴムのみ、ノートや教科書を置く位置）

※ 学習規律の確立に向け、学期ごとに学習朝会で高嶺っ子学習5つのきまりを確認する。

※ 高嶺中学校との学習規律共通実践を行う。

② 朝の学習（南山タイム）の実施

- 火曜日は、「結の会」による読み聞かせを行う。
- 月、木、金は、読書やドリルなど学級の実態に応じて必要な取り組みを行う。  
(木曜日はタブレットドリルの実施)

③ 校内テストの取組

- 学期末テスト・・・市販の国語「漢字50問テスト」及び、算数「たしかめテスト」を学期末テストとして実施する。90点以上を合格とし、合格できるまで繰り返しチャレンジする中で学習内容の定着を図る。合格できた児童には、合格証（図書貸し出し券）を配布し、意欲や達成感を味わわせる。
- 漢字読みテスト・・・夏休みや冬休み明けに実施し、学習への構えをつくることを目的とする。テストする漢字については、休みの宿題として配布しておく。
- かけ算九九テスト・・・基礎計算力の定着のため、年に2回程度全校でかけ算九九テストに取り組む。満点を合格点として、合格できるまで繰り返しチャレンジし定着を図る。かけ算が未習の学年にはたし算やひき算など、学習に応じた問題を出す。

④ 補習指導の取組

- 火曜日と水曜日の放課後に補習の時間を確保し、学習の定着に向けた支援を行う。  
基本的に国語、算数を行い、担任を中心に全職員で補助に入る。

火曜日	水曜日
○ 1・2年生 14:50～15:10 ○ 3～6年生 15:45～16:05	○ 4～6年生 15:45～16:05
補助：フリー職員（校長、教頭、教務、学習支援、特支担任） 1年…教頭      2年…校長 3年…特支      4年…教頭 5年…学支      6年…教務	補助：フリー職員（校長、教頭、教務、学習支援、特支担任） 4年…特支 5年…学支 6年…教務

⑤ 授業と連動した宿題

- 「家庭学習の手引き」を家庭訪問等で配布し、家での学習の仕方を児童や保護者と確認する。
- 授業と連動した「宿題」の与え方を工夫し、今日の学習内容を復習することで基礎基本の確実な定着を図る。
- ユイマール塾や桃原塾との連携を通して、学習内容の定着を図る。

⑥ 各種調査の分析結果を踏まえた、指導の工夫改善

- 全国学力・学習状況調査、沖縄県到達度調査、沖縄県学力定着状況調査（学びの確かめ）の結果分析をもとに、課題となる部分を共有し指導の工夫改善を図る。

⑦ 読書活動の充実

- 学年に応じた読書の質を高める取組。
- 朝の読書や読書月間、校内読書祭りの取組。
- 「結の会」による読み聞かせ活動。
- 高嶺中の生徒による読み聞かせ活動。

〔年間目標冊数〕				
1・2学年	1学期（35冊）	2学期（45冊）	3学期（30冊）	年間目標（110冊）
3学年	1学期（30冊）	2学期（35冊）	3学期（25冊）	年間目標（90冊）
4学年	1学期（25冊）	2学期（30冊）	3学期（25冊）	年間目標（80冊）
5・6学年	1学期（25冊）	2学期（30冊）	3学期（15冊）	年間目標（70冊）

⑧ 学習支援体制の充実

- 糸満市学習指導支援員、及び、スクールサポートスタッフ（SSS）による学習支援。
- 学習支援ボランティア（南山会）による学習支援。
- 放課後「ユイマール塾」「桃原塾」による学習支援。

## 豊かな心の育成

### (1) 支持的風土の学級・学校づくり (方策3) 支える 【発達の支援】

#### ① 目的や場に応じた言葉遣いやあいさつの習慣化

- あいさつ旬間・・・あいさつ標語やあいさつの木への取り組みを通して思いやり心や基本的なマナー、習慣を身に付けさせる。
- ふわふわ言葉旬間・・・ふわふわ標語等への取り組みを通してふわふわ言葉の良さを考え、相手を思いやる心を育てる。
- 「～さん」づけの指導・・・友達を「さん」付けで呼び、尊重する態度を育てる。

#### ② いじめ防止の取組

- いじめ追放宣言朝会・・・いじめ防止のスローガンを学級で話し合い、全校朝会で宣言する取組
- 教育相談週間・・・年2回、教育相談週間を設け、児童の悩みやいじめの発見、防止に努める。
- 道徳の授業・・・道徳の授業としていじめについて考える授業や人権の授業を実施し、人権意識を育てる。

### (2) 自己の将来や生き方を考える力の育成

(方策5) つなぐ【学校連携・地域連携】

- ① キャリア教育・・・キャリアパスポートの活用、自学自習力の育成。
- ② 地域教育資源の活用・・・地域コーディネーターを通して、地域の人材や教育資源を活用する。(校区探検、書き初め指導、そろばん指導、農業体験など)

## 健やかな体の育成

### (1) 生活と関連を図った健康づくり

(方策5) つなぐ【学校連携・地域連携】

- ① 徒歩登校の奨励。
- ② 食育指導 (家庭との連携) や各学年を通して食育授業 (栄養教諭との連携)。
- ③ 安全計画による安全指導、点検の徹底 (安全に気をつけて遊ぶことができる)

### (2) 日常的な運動・遊びを通じた体力づくり

(方策2) そろえる【組織的共通実践】

- ① 一校一運動 (マラソン)
- ② 新体力テスト、泳力調査に基づいた目標値の設定と取組  
(泳力→25m 3年30%、4年60%、5年70%、6年70%)
- ③ 日常的な運動を遊びの中に取り入れる環境の整備

## 基本的な生活習慣の形成

### (1) 生活リズムの確立 (方策5) つなぐ【学校連携・地域連携】

- ① 「早寝、早起き、朝ご飯」の習慣化
- ② 家庭学習の習慣化(家庭と連携)
- ③ 早登校【8:00】の奨励

## 学力向上推進マネジメントサイクル計画

学期	時期	取組の内容 ☆島尻地区学力向上推進の取組 ◎国・県・市の主催する調査 ○本校の取組	備考
1 学 期	R3年度 1~3月	◎県学力定着度調査(学びのたしかめ)及び県到達度調査の結果分析課題の共有、改善策の実施(補習指導、宿題など) ○教科年間指導計画の見直し	
	R4年度 4月	☆学力向上強化月間(学習規律徹底月間) ○支持的風土の学級づくり、学校での生活習慣の確立、学習のきまり指導 ○1学期 学習朝会(高嶺っ子学習のきまりの確認) ◎標準学力・知能検査(3年) ◎全国学力・学習状況調査(6年)結果の自校分析、改善策の実施	
	5月 6月	○アイチェックの実施(3~6年) ◎沖縄県学力定着度調査(学びのたしかめ)結果分析、課題の共有、改善策の実施 ※R4の実施学年は(4~5年)、11月の実施はなし	
	7月	◎全国学力・学習状況調査結果(文科省公表) ・客観的な分析、改善策の再検討、個人票を活用した個への支援 ○校内学期末テスト(漢字50問テスト、算数まとめテスト)	
	夏季休業	○補習指導の実施、夏休みの宿題の提供、教育課程の見直し	
2 学 期	8月	☆学力向上強化月間(学習“やる気”アップ月間) ○校内漢字読みテスト	
	9月	○学習朝会(学習規律の確認、校内期末テスト(1学期)の結果共有)	
	10月	○校内読書月間実施	
	11月	○校内かけ算九九テスト	
12月	◎県版学校・児童生徒質問紙調査 ○学期末テスト(漢字50問テスト、算数まとめテスト)		
	冬季休業	○冬休みの宿題の提供、教育課程の見直し	
3 学 期	1月	☆学力向上強化月間(学習ステップアップ月間) ○校内漢字読みテスト ○学習朝会(学習規律の確認、校内学期末テスト(2学期)の結果共有)	
	2月	◎沖縄県学力到達度調査(3~6年)結果分析、課題の共有、改善策の実施	
	3月	○校内かけ算九九テスト ○本校の取組のまとめ、次年度の課題確認 ○次年度計画作成	